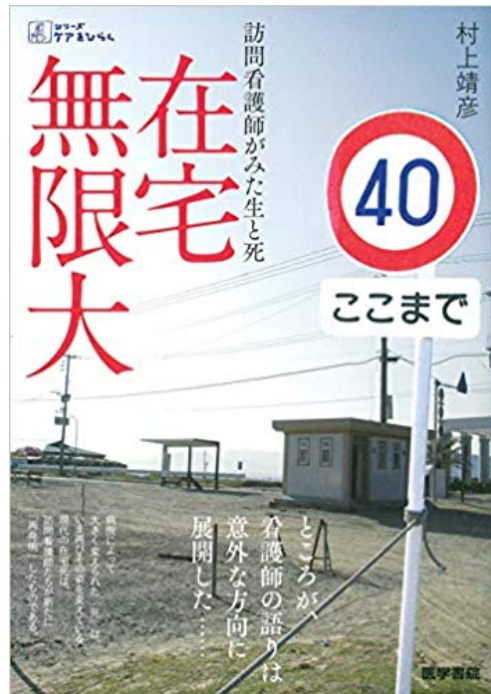


ケアを起点として社会を 作る

えにしの会

村上靖彦（大阪大学）

10分



21世紀の新しい流れ

- 大きくは...
- 競争主義・成果主義・経済優先の社会
- 入管での虐待、一時保護所や精神科病院での人権侵害、学校の理不尽な拘束... 不当な排除と暴力が横行する社会制度

- と同時に...
- さまざまなケアのあり方、当事者中心のピアグループ、こども食堂など地域での草の根のコミュニティがうまれてきた。
- → 「ケアから社会をつくることはできないか？」

- 繁華街である浪速区の南、阿倍野区の西に西成区がある。
- (大阪市立図書館HPから)



西成北部の地図

北東部が新世界

東部が釜ヶ崎（わかくき保育園やこどもの里）

西部が長橋地区（こども食堂やMY TREE）



西成 観光マップ

地図は平成29年(2017年)8月1日現在のものです

- ### 岸里駅・天下茶屋駅へのアクセス
- 大阪駅(西梅田駅)より**
JR・南海 大阪駅→(環状線)→新今宮駅→(南海線)→天下茶屋駅(約20分)
地下鉄 西梅田駅→(四つ橋線)→岸里駅(約12分)
- なんば駅より**
南海 難波駅→(南海線)→天下茶屋駅(約4分)
地下鉄 なんば駅→(四つ橋線)→岸里駅(約6分)
- 天王寺駅より**
JR・南海 天王寺駅→(環状線)→新今宮駅→(南海線)→天下茶屋駅(約10分)
地下鉄 天王寺駅→(御堂筋線)→大国町駅→(四つ橋線)→岸里駅(約14分)



村上の調査先

- 大阪市西成区：生活保護率23%（北部に限ると更に高い）
- かつての日雇い労働者の町（20世紀後半に路上生活者が急増、現在はハウジングが進む。極度の高齢化）
- 被差別部落・在日コリアンの集住地区
- → 制度のすき間に追いやられる人が多い。
 - 無国籍、無戸籍、無学籍（不就学児のためのあいりん学園1962-1984）
- 「すき間」をどう見つけるか？すき間の人をどのようにサポートするのか？
- → ニーズ本位のアウトリーチ、伴走型支援、居場所づくり

ベーシック・サービスのインパクト

- 私自身は「すき間」をどうしたらよいのか？という視点で社会的包摂を考えていた。
 - いまの社会的包摂の議論はどうやってもすき間を生む
- ベーシック・サービスは「とにかく全員」に安心な生活を保証する、という革命。
- →原理上はすき間が生じない

- とにかく全員をカバーする制度
- そして個別のニーズから出発する実践

調査先から見える今後の方向性

- → 全体的なサービスのプラットフォーム+そこですき間に落ちてしまう人、ニーズが解消できない人に個別の多様なサポートをいれる
- 大きな制度の方向性
- 制度的な排除・暴力・抑圧を解除する
- 誰も取り残されない社会を目指す（ベーシック・サービスは経済政策上の方向たりうる）
- ケア労働を正當に評価する

- 小さな社会の作り方
- 一人ひとりの顔が見える関係から出発する
 - とくにSOSを出しうる場、かすかなSOSをキャッチする環境（SOSのケイパビリティ）
- 自発的に生まれるコミュニティ
- 居場所とアウトリーチが重層的にくみあわせる。